

居合道たより Vol.15



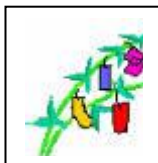
居合道ながさき



＜大人しく文(ふみ)書く朝や小暑かな・・・小暑＞

(小暑(しょうしょ) 7月7日の頃)

暑いという言葉が頻りに耳にするようになったら、本格的な夏の到来です。一言に暑いといっても、その暑さには時期によって違いがあります。例えば、梅雨のじめじめした暑さと梅雨明け後の太陽が照りつける暑さは、まるで別物です。そのような体感の違いを表す言葉が、日本には多くあります。その中の一つが「小暑」です。その意味は小さい暑さは夏の初め頃だと想像はつきますが、小暑という言葉を使うことができる時期が決まっています。まず、小暑と書いて「しょうしょ」と読みます。その名のとおり、大暑の前にやってくる季節という意味で、本格的な暑さを迎える目安でもあります。近年では、梅雨入り前から夏のような暑さを感じる日もありますが、小暑が来る前に体力をしっかりとつけて、夏の対策は万全にしておきたいものです。年によって多少のバラつきはありますが、七夕は小暑と同時期となります。



今年の夏はとても厳しい暑さが予想されます。居合道の稽古では熱中症にならないように水分補給を確実にとりたいですね。

＜全日本居合道大会強化稽古・・・猛暑での稽古実施中＞

令和元年第54回全日本居合道大会は10月19日(土)高知県立武道館において開催されます。長崎県代表として悔いのない稽古を積み、ベストを尽くして大会に臨んでほしいものです。5月19日(日)に開催された長崎県居合道段別選手権大会で五段から七段までの上位選手が強化選手として選考され、本大会までの強化稽古が猛暑のなか続けられています。

1) 長崎県強化選手 (監督 高木志伸)

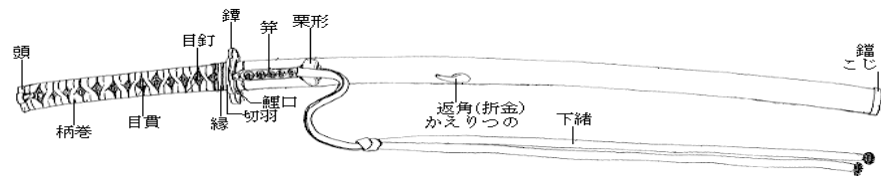
- 五段 畑中健祐 (遊道会)・樋渡 彰 (修道塾)
- 六段 宮崎大輔 (友剣会)・塩土宗喜 (友剣会) 竹本 剛 (生武館)
- 七段 平 禮道 (口の津健武館)・岩田重憲 (武交会)

- 2) 全日本居合道大会開催地  
高知県立武道館  
〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目8番3号 TEL. 088-825-1271 (代表)
- 3) 開催日時  
令和元年10月19日(土) 午前9時より (一般見学可)
- 4) 強化日程稽古

今年度の強化稽古は6月から10月の全日本居合道大会まで佐世保市を中心に強化稽古を計画、実施しています。

令和元年度 全日本居合道強化稽古

	強化練習	月 日	時間	場 所
1	第1回強化練習	6月16日(日)	9:00~15:00	南島原市南有馬武道館 (南島原市)
2	第2回強化練習	6月30日(日)	々	南島原市南有馬武道館 (南島原市)
3	第3回強化練習	7月14日(日)	々	長崎県立武道館 (佐世保市)
4	第4回強化練習	8月18日(日)	々	鹿町工業高校多目的室
5	第5回強化練習	9月15日(日)	伝達講習会及び一級審査後	長崎県立武道館 (佐世保市)
6	第6回強化練習	9月29日(日)	9:00~15:00	南島原市南有馬武道館 (南島原市)
7	第7回強化練習	10月6日(日)	秋季昇段審査・講習会後	佐世保市総合グラウンド体育館
8	第8回強化練習	10月13日(日)	9:00~15:00	鹿町工業高校多目的室 (佐世保市)



第3回長崎県居合道演武大会報告・・・シーハットおおむら さくらホール

令和元年6月23日(日)にシーハットおおむら さくらホールにて、長崎県居合道部による長崎居合道演武大会を開催しました。少ない観客ではもったいないような素晴らしい演武大会となりました。また、5月19日(日)に開催された長崎県段別居合道大会後の気迫のはいった演武ができました。演武内容は県内に伝わる各流派の演武を10分間ごとに行いました。まず、全日本剣道連盟居合(ぜんにほんけんどうれんめいいあい)から演武をはじめ、神道無念流(しんとうむねんりゅう)無双直伝英信流(むそうじきでんえいしんりゅう)夢想神伝流(むそうしんでんりゅう)の演武を披露しました。また、長崎居合道演武大会前には第34回おおむら菖蒲まつり少年剣道大会がシーハットおおむらで開催され、小学生から中学生まで272チーム約1500人の少年剣士が大村に集まりました。佐賀、福岡、熊本、大分など九州の強豪チームが結集した開会式では長崎県剣道連盟居合道部を代表して、居合道教士七段・居合道錬士六段の4名の先生方が演武をしました。立ち合いは地元大村の川辺一郎教士七段でした。選手と審判役員、保護者を入れると約4000人の前での演武でした。演武が始まると場内が次第に静けさの中に変化していくことを肌で感じ、何とも言えない雰囲気の中で演武することができ、あらためて居合道の持つ静と動の持つ素晴らしさを感じました。来年度は長崎居合道演武大会に出場する全員での演武をおおむら菖蒲まつり少年剣道大会会場で披露したいと感じました。

<長崎県居合道演武大会写真集>



講習会を訪ねて・・・佐世保剣道協会 「武道家のための居合道セミナー」

標記の講習会が令和元年7月14日(日)、長崎県立武道館(佐世保市)において開催されました。本講習会の居合道セミナー「武道家のための居合道」は佐世保市剣道協会主催で剣道人のための居合道講習会ということで実施されました。佐世保市剣道協会から居合道部長と全日本居合道大会強化選手が講師として招聘されました。講習会には剣道七段、六段、五段の方々が約12名参加されました。講習会は午前中、居合道修業の目的、刀の名称と刀の取り扱い、居合道及び剣道の歴史、日本剣道形の歴史と無双直伝流居合太刀の形についての講話の後に居合道組太刀の実技を行いました。実技では着装、足さばき、納刀、手の内、刀の振り方など基本的な動作、所作、五業の構えなど日本剣道形と居合道組太刀の形の類似点と違うところを実際に体験しながら行いました。セミナーには自作のテキストを準備してわかりやすいように編集しました。実技では直伝の組太刀の位を実際に体験しました。組太刀の間合い、太刀裁き、呼吸法を剣道七段の先生方も熱心に取り組んでいました。講習会参加の皆さんが自分の剣道修業に居合道の良いところを取り入れようとしている姿勢には頭が下がる思いがありました。最後には本年度全日本居合道大会高知大会出場選手の演武を参加者全員で見ました。代表選手の息遣いや太刀さばきを見逃さないように観る姿勢に頭が下がる思いがありました。これからもこのような剣道と居合道が互いの良いところを認め合う講習会を実施できるようになりたいと感じました。

「無双直伝流居合太刀の形」

- 一本目 出合い、二本目 拳取り、三本目 絶妙剣、四本目 独妙剣
- 五本目 鏢留、六本目 請流、七本目 真方(打ち込み)

